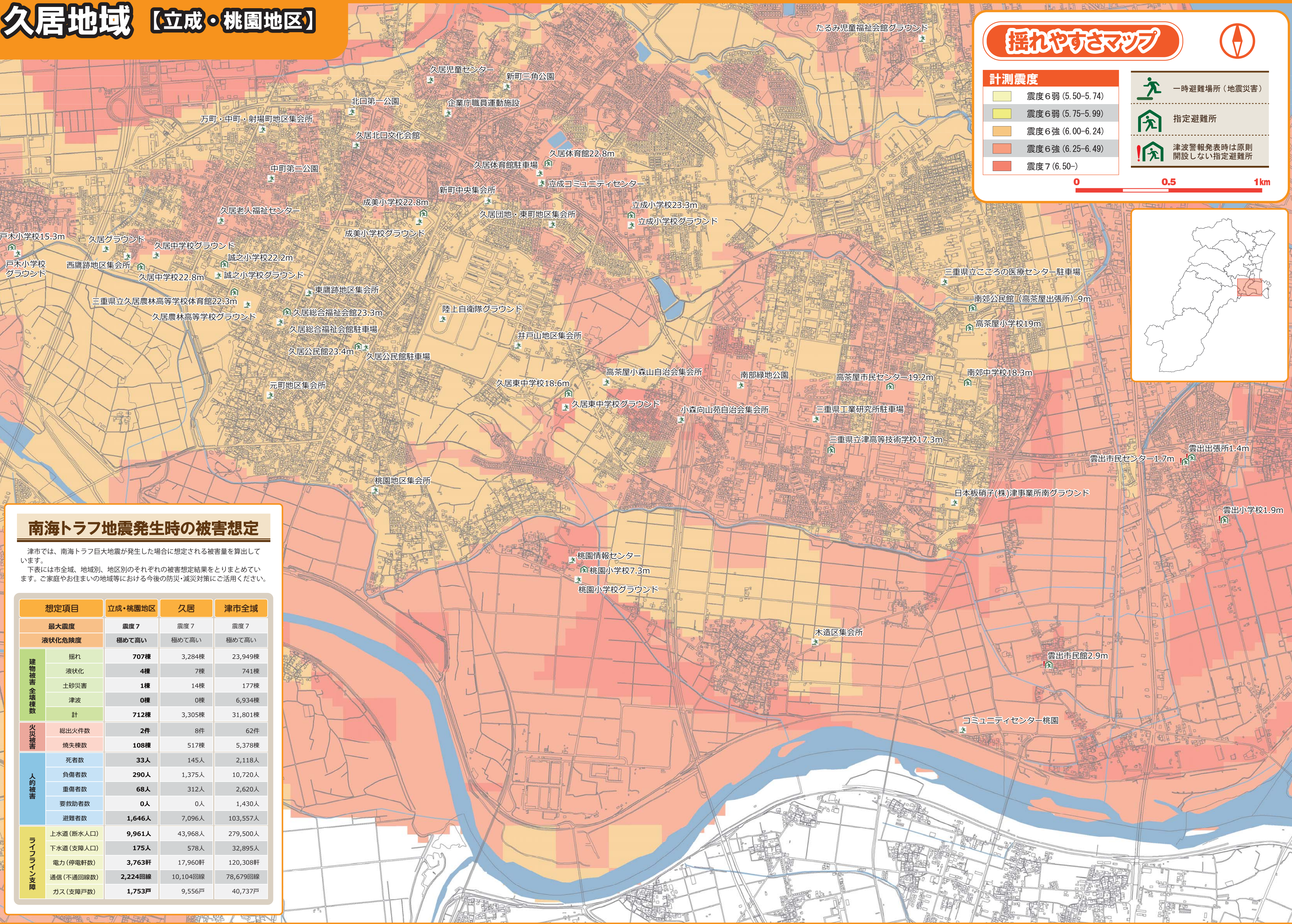


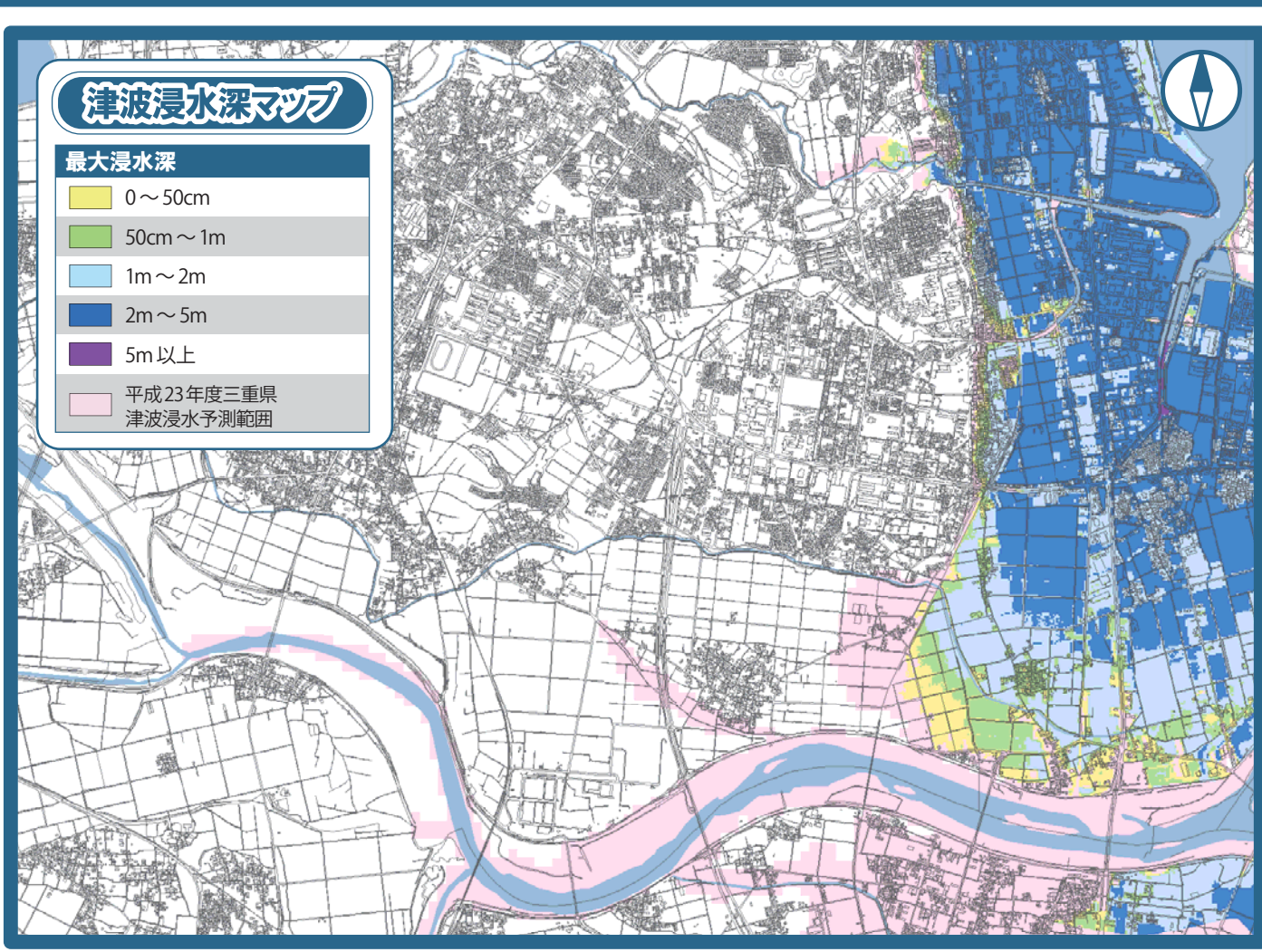
久居地域【立成・桃園地区】



南海トラフ地震発生時の被害想定

津市では、南海トラフ巨大地震が発生した場合に想定される被害量を算出しています。下表には市全域、地域別、地区別のそれぞれの被害想定結果をとりまとめています。ご家庭やお住まいの地域等における今後の防災・減災対策にご活用ください。

想定項目	立成・桃園地区	久居	津市全域
最大震度	震度7	震度7	震度7
液状化危険度	極めて高い	極めて高い	極めて高い
建物被害 全壊棟数	揺れ 707棟 液状化 4棟 土砂災害 1棟 津波 0棟 計 712棟	3,284棟 7棟 14棟 0棟 3,305棟	23,949棟 741棟 177棟 6,934棟 31,801棟
火災被害	総出火件数 2件 焼失棟数 108棟	8件 517棟	62件 5,378棟
人的被害	死者数 290人 負傷者数 68人 要救助者数 0人 避難者数 1,646人	145人 1,375人 312人 0人 7,096人	2,118人 10,720人 2,620人 1,430人 103,557人
ライフライン被害	上水道(断水人口) 9,961人 下水道(支障人口) 175人 電力(停電軒数) 3,763軒 通信(不通回線数) 2,224回線 ガス(支障戸数) 1,753戸	43,968人 578人 17,960軒 10,104回線 9,556戸	279,500人 32,895人 120,308軒 78,679回線 40,737戸



- 津波避難の
こころえ
- 「避難は徒歩が原則」
家財の制動や落下物などにより、自動車ではスムーズに避難できない可能性があります。また、渋滞や交通事故のおそれがあるので、歩いて避難しましょう。
 - 「想定にとられない」
想定以上の災害が起こることもあります。想定にとられず、その時の状況を見極めることが大切です。
 - 「率先して避難する」
勇気を出して率先して避難すれば、その姿をみて周りの人も避難するようになり、多くの人の命を救うことができます。
 - 「最善を尽くす」
自分は大丈夫、こま程度は大丈夫ではなく、その時での最善の行動をとりましょう。
 - 「地域での協力が大切」
お年寄りや体の不自由な方に声をかけて、一緒に避難するなど、ご近所でお助け合しましょう。
 - 「河川に近づかない」
海から離れていても、津波は河川を遡ってやってきます。避難するときは、河川から離れる方向に避難をしましょう。
 - 「逃げ遅れたら、津波避難ビルへ」
いざというときに、どうしても速くまで避難ができない場合は、「津波避難ビル」または「津波避難協力ビル」に避難してください。

